

## 報 道 資 料

令和7年(2025年)9月18日

報道機関 各位

函館市総務部災害対策課長

函館市防災フェスタ2025に係る報道について（依頼）

函館市防災会議では、災害時における円滑な応急対策の推進と市民の防災意識の高揚を図ることを目的に、下記のとおり防災フェスタを実施いたします。

つきましては、取材および報道について、特段のご配慮を賜りますようよろしくお願いいたします。

### 記

- 1 日 時 令和7年10月4日（土） 実動訓練：10時～11時20分  
展示・体験：10時～14時
- 2 会 場 函館市緑の島（函館市大町15番）
- 3 内 容 別添プログラムおよびチラシのとおり
- 4 主 催 函館市防災会議

車両にて来場される機関は、入場許可証をお渡しいたしますので、下記までご連絡願います。入場の際はダッシュボードに入場許可証を提示して下さい。（入場許可証の提示のない車両は緑の島へ入場はできません。）

〈ご連絡先〉

総務部災害対策課

電話 21-3676 林下（はやしした）

●プログラム

令和7年10月4日(土) 10:00~14:00  
緑の島(函館市大町15番)

- 自衛隊カレー800食限定配布 ●非常食1,000セット無料配布
- 放水体験 12:00~

アンケートのご協力をお願いいたします。  
(右記QRコード読込)



# 函館市 防災フェスタ2025

主催：函館市防災会議



【展示・体験会場(14時まで)】

| 項目        | 実施機関   | 概要   |
|-----------|--|--|
| 災害時炊き出し訓練 | 陸上自衛隊第28普通科連隊<br>日本赤十字社北海道支部函館市赤十字奉仕団  | 災害時の炊き出し訓練を実施する。カレーライス 800食。<br>調理は陸上自衛隊、配食は赤十字奉仕団が実施する。 |
| 展示・体験     | 第一管区海上保安本部函館航空基地/函館海上保安部/函館地方气象台/海上自衛隊函館基地隊/渡島総合振興局/<br>日本放送協会函館放送局/株NTT 東日本-北海道 北海道南支店/北海道電力ネットワーク(株)道南統括支店/<br>日本赤十字社北海道支部函館地区水上安全法赤十字奉仕団/函館赤十字病院/北海道ガス(株)函館支店/<br>函館FM(株)FM いるか/一般社団法人北海道 LP ガス協会道南支部/イオン北海道(株)イオン湯川店/<br>NPO 法人コメリ 災害対策センター/北海道コ・コラーテル&ベンディング(株)/北海道キリンビレッジ(株)道南支店/合同容器(株)/<br>株ゼンリン/函館地区トヨタ会 (AGH トヨタ札幌(株)函館カンパニー・函館トヨタ自動車(株)・函館トヨペット(株)・トヨタカーラ(株)函館(株) /<br>函館中央三菱自動車販売(株)/函館日産自動車(株)/株ドコモ CS 北海道 北海道南支店/ミドリ安全北海道(株)函館営業所/<br>株阪急交通社/北海道社会基盤開発協会/三和防災(株)/北海道開発局函館開発建設部/陸上自衛隊第28普通科連隊/<br>北海道警察函館方面本部/函館中央警察署/函館西警察署/北海道警察情報通信部函館方面情報通信部/<br>函館市土木部/はこほ会/函館建設業協会/函館市消防本部/函館市総務部/函館市防災士会 |  |

## 函館市防災フェスタ2025会場図



**カ** カレーライス引換券配布場所  
(先着順で800食)  
※9時30分から引換券を配布します  
※引換券はお一人様1枚の配布となります

**非** 非常食セット配布場所  
(先着順で1000セット)  
※12時から配布します。引換券は配布しません  
※非常食セットはお一人様1セットの配布となります

# 函館市防災フェスタ2025訓練プログラム

## 【実動訓練】

| No. | 時刻    | 項目                      | 実施機関   | 訓練概要  | 所要時間 |
|-----|-------|-------------------------|--|---|------|
| 1   | 10:00 | 通信確保訓練                  | 函館開発建設部  | 災害発生時の現地での通信確保および情報収集を目的に、衛星通信設備や電源等を搭載している衛星通信車を利用し、訓練の様子をカメラで撮影し、対策本部（訓練本部）のモニターに映像を配信する。   | 終了まで |
| 2   | 10:00 | 緊急地震速報対応訓練              | 函館地方気象台<br>函館市防災士会<br>函館市総務部<br>町会   | 緊急地震速報を見聞きした際に「身の安全を守る行動」を実施することで緊急地震速報が発表された時の適切な対応行動の身に着ける。   | 2分   |
|     |       | 地震津波情報伝達訓練              |  | 地震及び津波に関する情報を、関係機関や住民に迅速かつ正確に伝達することで、正確な対応行動をとれるようにする。  |      |
|     |       | 津波フラッグ掲出訓練              |  | 津波フラッグを用いて大津波警報、津波警報、津波注意報が発表されたことを、遊泳者等に迅速かつ正確に伝達し、避難等の的確な対応行動をとれるようにする。   |      |
| 3   | 10:02 | 避難広報訓練                  | 函館市函館消防団<br>函館西警察署<br>函館市防災士会<br>町会  | 函館消防団と函館西警察署は、地震発生による大津波警報発表を受け、津波到達までの間、車両による大津波警報の避難広報を実施する。警察車両は日本語および他言語による避難広報を実施する。市対策本部は緊急速報メール配信や防災行政無線により周知を図る。  | 2分   |
| 4   | 10:04 | 海上行方不明者捜索訓練             |  | 津波で流された行方不明者の捜索に当たり、海上保安本部函館航空基地のヘリコプターは上空から、海上は海上保安部の巡視艇、搭載艇（ゴムボート）、函館西警察署の警備艇が目視により水域の捜索を実施する。  | 1分   |
| 5   | 10:05 | 海面漂流者捜索・救出救助訓練          | 第一管区海上保安本部<br>函館航空基地<br>第一管区海上保安本部<br>函館海上保安部<br>函館西警察署  | 上空で捜索するヘリコプターが漂流者を発見。その情報を各艇に連絡し情報を共有し、情報を得た海保の搭載艇が漂流者を救出に前進した後、漂流者を搭載艇に救出。心肺蘇生を実施しつつ巡視艇に搬送し引き継ぎ、要救助者を収容した巡視艇は、救護措置を施しつつ、要救助者の吊り上げ救助の準備を実施する。警備艇および搭載艇は捜索を継続する。   | 15分  |
|     |       | 航空機による吊り上げ救助訓練          |  | 機動救難士が巡視艇へ降下し、救助者に吊り上げ装具を装着、ヘリに吊り上げ救助、機内へ収容し救急車の待機する近隣空港へ搬送する。  |      |
| 7   | 10:20 | 船舶火災消火訓練                | 函館市消防本部<br>函館市函館消防団<br>株式会社清田  | 津波により避難の遅れたタンカーが岸壁に衝突し、その衝撃により火災が発生した想定で、消防隊および消防団は岸壁から、はしご車、タンク車による一斉放水により消火活動を実施する。   | 8分   |
| 8   | 10:28 | 発災直後の航空機・車両による被害状況の偵察訓練 | 陸上自衛隊第28普通科連隊<br>陸上自衛隊第11飛行隊   | 先遣偵察要員を載せたヘリから航空偵察を行い、ヘリ降下場所の安全を確認後、徒歩偵察要員を降機させ無線により状況を報告します。地上偵察班は、オートバイと軽装甲機動車による偵察を行い被災地域の状況について逐次災害対策本部へ報告し、情報共有を図る。偵察終了後、徒歩偵察要員を乗車させ次の偵察地域へ前進する。   | 5分   |
| 9   | 10:33 | 緊急交通路確保・救出救助訓練          | 北海道警察函館方面本部<br>函館中央警察署<br>函館西警察署<br>日本自動車連盟函館支部  | 津波で流された車両の下に人の様な姿が見え、更に道路を塞いでいるとの情報を受け、パトカーが急行、状況報告、応援要請、交通整理を実施。要請により北海道警察警備隊、JAFが臨場。JAFが車両を持ち上げ安全措置を施し、警察が負傷者を救出。交通の妨げとなっている事故車両を排除し、緊急交通路を確保し災害救助活動の円滑化を図る。  | 12分  |
| 10  | 10:34 | 夜間照明・待機支援車設置訓練          | 函館開発建設部<br>(以下No18まで実施)  | 照明車は夜間時の災害を想定し、災害現場における復旧作業の支援を行うため、照明車を使用し、円滑な夜間作業を支援する。待機支援車は地震や台風などの災害時に出勤し、現地に派遣された職員の後方支援を行う。  | 46分  |
| 11  | 10:45 | 座屈建物救出訓練                | 函館市消防本部<br>函館市函館消防団<br>市立函館病院DMAT<br>津軽海峡フェリー  | 大規模な地震により、4階建てビルが座屈し、隣接建物の倒壊により閉じ込められた人や、瓦礫等の飛散により負傷した人が発生との情報を受け、現場に臨場した消防関係機関等は多数発生した要救助者の救出救護活動を実施する。  | 17分  |
| 12  | 10:47 | 応急救護所仮設訓練               | 函館市消防本部<br>函館市函館消防団<br>市立函館病院DMAT<br>道南ドクターヘリ  | 災害現場で医療機関への救急搬送が困難な患者が発生。消防隊はエアートントにて応急救護所を開設して負傷者の救護にあたる。消防団員は、車両拡声器により応急救護所の開設と避難誘導について広報を実施する。消防本部から要請を受けた道南ドクターヘリが現場に降着。  | 10分  |
| 13  | 10:47 | 負傷者救護訓練                 | 函館市消防本部<br>北海道防災航空室<br>市立函館病院DMAT<br>道南ドクターヘリ<br>函館市医師会<br>柔道整復師会函館ブロック<br>陸上自衛隊第28普通科連隊<br>津軽海峡フェリー | 消防隊が設定したトリアージスペースへ救出・搬送された負傷者に対し、DMAT、函館市医師会がトリアージを行い、負傷の程度（重症・中等症・軽症）に応じ、応急救護所に収容する。重症者については応急手当を行い医療機関への搬送指示を出す。消防本部からの出勤要請を受けて北海道消防防災ヘリが現場付近の上空へ到着。北海道消防防災ヘリは重症者を搬送するためピックアップの準備をし、隊員をヘリから降下させ、いったん離脱する。 | 15分  |
| 14  | 10:47 | 負傷者応急手当訓練               | 函館市消防本部<br>市立函館病院DMAT<br>道南ドクターヘリ<br>函館市医師会<br>柔道整復師会函館ブロック<br>陸上自衛隊第28普通科連隊<br>津軽海峡フェリー             | 応急手当は救急隊と看護師、柔道整復師会函館ブロックが連携して実施する。柔道整復師会は、DMAT、函館市医師会の医師にトリアージされた負傷者に対し、医師の指示により骨折・脱臼・捻挫・筋挫傷等に対する応急処置を固定材料等を用いて施す。重症者については応急処置を行い医療機関へ搬送を指示する。   | 15分  |
| 15  | 10:50 | 負傷者搬送訓練                 | 函館市消防本部<br>北海道防災航空室<br>市立函館病院DMAT<br>道南ドクターヘリ<br>陸上自衛隊第28普通科連隊<br>津軽海峡フェリー                           | DMAT、函館市医師会のトリアージを受けた傷病者に応急処置を実施後、消防本部からの出勤要請を受けたドクターヘリが重傷者を搬送開始後、北海道消防防災ヘリは再度ピックアップ地域に侵入し重症者をピックアップし医療機関へ搬送する。   | 12分  |
| 16  | 11:02 | 水防訓練                    | 函館市消防本部<br>函館市函館消防団<br>函館市土木部<br>はこほ会<br>函館建設業協会   | 地震によって水道管が破裂し、大量の水が住家に流入するおそれがあるため、消防隊および消防団員は土のう積みによる水防工法を実施する。1、釜段工法（漏水防止）、2、積み土のう工法（越水防止）  | 18分  |
| 17  | 11:02 | 給水拠点設置訓練                | 函館市企業局<br>函館管工事業協同組合<br>第一環境(株)<br>函館市社会福祉協議会<br>災害ボランティア  | 地震による水道配水管の亀裂漏水が原因とみられる断水が発生したとの想定で給水拠点を設置し応急給水活動を実施する。   | 18分  |
| 18  |       | 災害ボランティア集約活動訓練          |  | 函館市社会福祉協議会は、災害ボランティアを集約し活動を行う。集約された災害ボランティアは、避難所に設置される組立式給水タンクから給水袋に水を入れ、配給支援を実施する。   |      |
|     | 11:25 | 統監講評                    |  |   |      |